学校番号 C2101　桃谷(通)　　令和2年度 芸術(音楽)科

科目名 ：	音楽Ⅰ	単位数 ：	2 単位	必要ｽｸｰﾘﾝｸﾞ出席回数 ：	8 回
使用教科書 ：音楽Ⅰ 改訂版 Tutti (教育出版)					
学習書 ・副読本 ：：なし					

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	20 回	8 回	6 回	6 回
テスト [T]	1 回	○	×	×
その他 (課題・実習等)	3範囲のスクーリング時に歌のテストを実施します。			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・年間のスクーリングを通して、実技テスト（歌）の課題曲を練習します。
・課題曲は3曲のうちから、好きな曲を1曲選んでテストを受けてください。
・3範囲の毎回のスクーリングで、歌のテストを受け付けます。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b ：音楽表現の創意工夫	c ：音楽表現の技能	d ：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱や鑑賞等の学習に主体的に取組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	・記述の点検（レポート、定期考査） ・歌唱・鑑賞の様子（スクーリング）	・演奏の聴取（スクーリング、実技テスト）	・演奏の聴取（スクーリング、実技テスト）	・記述の点検（レポート） ・鑑賞の様子（スクーリング）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	歌唱 西洋音楽史① 楽典の知識①	課題曲練習 「浜辺の歌」 「'O sole mio」 「野ばら」 古代、中世の音楽～ルネサンスの音楽～バロックの音楽～古典派の音楽 音名・音符と休符 拍子 楽語	○	○		○	a.歌唱、鑑賞、楽典の学習に関心を持ち、主体的に取り組もうとする。 b.音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱している。 d.音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受して鑑賞している。	・レポート ・スクーリング ・定期考査
2範囲	歌唱 西洋音楽史② 楽典の知識②	課題曲練習 「浜辺の歌」 「'O sole mio」 「野ばら」 ロマン派の音楽～近代・現代の音楽～現代日本の音楽 音階と階名 調号と主音 反復記号	○	○		○	a.歌唱、鑑賞、楽典の学習に主体的に取り組もうとする。 b.曲想を歌詞の内容に関わらせて感じ取り、どのように歌うかについて、表現意図をもって歌唱している。 d.音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受して鑑賞している。	・スクーリング ・レポート
3範囲	歌唱 世界の諸民族の音楽 日本の伝統音楽	課題曲練習 「浜辺の歌」 「'O sole mio」 「野ばら」 アジア・ヨーロッパ、アメリカ地域の音楽 日本の伝統音楽 「箏・三味線」などを用いた音楽	○	○	○	○	a.歌唱、鑑賞、楽典の学習に主体的に取り組もうとする。 b.曲想を歌詞の内容に関わらせて感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて、表現意図をもって歌唱している。 c.イメージを持って音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表して歌唱している。 d.世界の民族音楽や、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト

※ 表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。